

〈第9回〉

# 子どものステキさ♡ 見えてますか?



日本福祉大学名誉教授 近藤直子

子育て支援センターで、近づいてきたお友だちをたたいてしまいました。今までもそういうことがあり、子育て支援センターに行くのがつらくなりました。(S)

## 乱暴なわが子、外出がつらいです

A おもちゃを取られたからたたくという場合は、理由がわかるのでまだしも気が楽ですが、お友だちが特にひどいことをしたわけではないのに、わが子がほかの子をたたいたり押しついたりすると訳がわからず困りますよね。「ダメよ」と言い聞かせてもやめないと、子育て支援センターなど子どもが集まる場所には行くのがつらくなります。  
なぜなの？私が悪いの？などと自分を責めないでください。お友だちに対して手が出やすい子どもの中には、他の子よりも空気の動きや空間の

## 「私が悪いの？」と自分を責めないで

密度を敏感に察知して不快になる子がいます。お友だちが近づいてくること自体が「得体のしれないものが迫ってくる」恐怖感になれば、思わず振り払い押しのけてしまいます。「イヤだったんだ」という気持ちを受け止めてあげることが必要です。

好きな親が自分のイヤな気持ちをわかってくれることで、子どもは少し安心



参照：著書『気になる子の秘められた魅力』クリエイツかもがわ

します。その子にとっては、子どもが密集しにくい「場」の方が安心しやすいので、そうした場を保健師さんに教えてもらいましょう。お友だちの声や動きに慣れてくると子どものしんどさは軽くなり、その子なりのあり方で集団に参加できるようになります。  
こうした敏感さのある子は、一方で、周りを観察する力をつける可能性を秘めているとも言えます。私は密集が嫌いなので集団遊びは苦手ですが、だから子どもを観察する仕事を選びました。子どもをじっくり観察し、その子のちょっとした変化を察知し、保健師や保育士、そして保護者と伝え合い喜び合えることが、私の仕事上の幸せなのです。

※子育ての質問を募集します(写真も)。編集部まで

〈月1回〉

知っておきたい



# 食事情

千葉市で酪農業を営んでいる3代目です。35頭の乳牛を飼って牛乳の生産をしています。

ところで、牛乳が食卓から消えるかもしれないという状況をご存じでしょうか。円安や世界情勢の不安定化に伴い飼料、肥料、燃料と多くの生産資材が高騰。この厳しい状況が2022年頃から常態化し、酪農家の離農が加速、全国的に生乳生産量が減少傾向にあります。

牛乳は需給のバランスをとることが非常に難しい食品です。暑い夏は冷たい牛乳が売れる最需要期ですが、生産は乳量が底を打つひばく期です。一方で寒い冬は冷たい牛乳が売れない不需要期ですが、牛の調子は良くなり生産は最も好調な時期です。つまり、需要と供給がまったく逆の動きをします。夏の最需要期に必要な牛乳を確保するために、冬に牛乳の過剰生産が避けられない構造なのです。そのため冬の過剰生産分はバター、脱脂粉乳などの乳製品に加工することで

## 酪農の火を消すな！直接補填、所得補償を

需給のバランスを業界全体で調整しています。

牛乳の代表的な生産地は北海道です。その北海道でこの年末年始は加工に仕向けられる牛乳が足りなかったそうです。これはもう離農加速の影響と言うほか疑いようがなく、今夏も酷暑となった場合に需要をまかなえるのか、不安の声が上がっています。今夏とさらに来年の夏、牛乳が足りなくなり、スーパーの棚から牛乳がない事態が発生する懸念がすでに業界内でも出始めています。

農民連は政府に、再三にわたって「酪農の灯を消すな！」と資材高騰分の直接補填や所得補償などを要望してきましたが、対策はなされていません。引き続き政府に署名など声を上げていきます。消費者のみなさんにも、コップ一杯多く牛乳を飲んで応援いただければと思います。

(千葉県農民連 金谷雅史)



金谷さんの牛舎で

聞き書き

# 母の歴史

宮崎県 上西祐子さんのお話 (3)

引き揚げ後の無理な生活がたたってか、1948年より母は結核を患い、家で療養生活を送ることになりました。

私たちが住む三股町には入院する病院がないため、定期的に隣の都市部の病院に通い薬をもらい、自宅での服薬と栄養のある食事を摂ることだけが病気の治療でした。当時結核は国民病とも言われ、多くの患者がいることは聞かされてきました。

母が病院に行く時には、私が妹を背中におんぶして付き添っていました。そして家では、ご飯炊きや子守りなどが私の役割で、学校にも妹をおんぶして通う日もありました。

そんな中、父は医療費の支払いや母に栄養のある食事を取るために、19



小学校時代に住んでいた山王原

50年にアメリカ軍の船の乗組員となり朝鮮に渡りました。父は、日本が敗戦したアメリカ軍の下で働くことは恥ずかしいと感じていたようですが、母のために背に腹は代えられないと、この仕事を選んだようでした。

当時アメリカは朝鮮戦争に参加していたために、乗組員には危険手当がつき、田舎者の私たちにとっては驚くほど多額の給料が送られてきました。母は子どもたちのために治さないとはいえないと思い、回復することを信じて栄養のある物を食べ、高い薬を飲んで治療に専念していました。しかし1951年、年

## 妹をおぶって学校へ

明けから病状は悪化し同年8月、まだ37歳という若さで亡くなってしまいました。暑い日の夕方のことでした。

## ジェンダー平等と平和へ、時代を切りひらいた 平塚らいてうからのバトンを受け継ぐ



発行 新日本婦人の会

「平塚らいてうからのメッセージ」いま話題のパンフレット  
祝 日本被団協ノーベル平和賞  
戦争被爆国の女性の核兵器廃絶の願いを被爆者とともに世界に訴え続けたらいてうと日本の女性運動。特設コーナーを新設しました。  
場所：東京都文京区小石川5-10-20 新婦人中央本部1階  
開館：第2・第4火曜日 14:00~16:00  
申込：1週間前までにnjwa@shinfujin.gr.jpか FAX 03(3814)9441で 氏名、人数、所属、電話を明記

## 大軍拡NO！暮らし、平和こそ、ジェンダー平等実現へ

新婦人・憲法手帳  
頒価 100円 A6判  
・日本国憲法全文  
・女性差別撤廃条約・国連憲章(抜粋)  
・子どもの権利条約(抜粋)を収録  
あたらしい憲法のはなし  
頒価 100円 B6判  
憲法施行まもなく、文部省が中学生用の教材として発行した冊子の復刻版

女性差別撤廃条約  
子どもの権利条約  
憲法とともに学ぼう！  
★ご注文は班・支部・都道府県本部へ  
発行 新日本婦人の会  
TEL03-3814-9141 FAX03-3814-9441